

## 2015年3月期 決算説明会 質疑応答

2015年5月8日に開催した決算説明会における主な質疑応答は下記の通りです。なお、記載内容につきましては、ご理解いただきやすいよう一部に加筆・修正をしております。

**Q1：2014年度の業績見通しでは薬価・公定価改定の影響を62億円見込んでいたが、結果として47億円となった要因は？**

A1：心臓血管カンパニーで、競争力の高い製品において、公定価下落分程、実販売価を下げずに済んだことが寄与した。

**Q2：国内の病院の稼働率に変化はあるか？現在の状況は？**

A2：上期は、医療保険制度の変更に伴う高齢者の負担増等により、稼働率の低下が見られたが、下期に入ってやや落ち着いてきている。引き続き価格に対する圧力は厳しいが、差異化できる製品にシフトし、収益性を維持しながら売上拡大を図る。

**Q3：カンパニー制移行後の進捗は？今回発表されたグローバル経営基盤強化のためのCXO設置の狙いは？**

A3：心臓血管カンパニーでは、足元の収益向上に加えて、今後の成長に向けた中長期的な取り組みも進んでおり、移行の成果が出ている。ホスピタルカンパニーは、人材の強化も含め努力しており、今年度からなんとか成果を出したい。血液システムカンパニーは以前から一貫通貫のグローバル経営を行っているが、今回価格下落という大きなチャレンジに直面している。この影響をいかに最小化するかが今期の課題と考えている。CXOの設置は、海外の企業を買収する中、グローバル本社機能の強化を図り、真のグローバル企業へと飛躍を遂げる事が目的である。昨年事業部門の強化を図ったので、今年はグローバル本社機能の強化に取り組んでいく。

**Q4：全血採血では価格下落および一社購買の動きがみられるが、今後もこの動きは続くのか？また成分採血への影響は？**

A4：米国を中心とした大幅な価格下落により、全血採血および成分採血関連の製品ともに2014年度第4四半期より影響が出始めている。2015年度は規模の大きい契約で価格下落があり影響が大きい。今後もまだ下落する可能性はあるが、これ以上大幅に落ち込む事は無いと見ており、2016年度以降は落ち着くと見ている。顧客にとって一社購買は安定供給の観点からリスクがあると考え、複数購買にする動きもある。地域、顧客により考え方は異なるため、ケースバイケースではないかと考えている。

**Q5：2015年度は売上高の伸びに対し、営業利益の伸びがやや弱いように思われる。TCVS関連費用、血液の価格下落、為替のマイナス影響以外に要因はあるか？**

A5：主要因ではないが、ホスピタルカンパニーの収益改善が当初想定していた程大きくない。

**Q6：2015年度に研究開発費が56億円、減価償却費が43億円増加する要因は？2016年度もこの水準が続くのか？**

A6：心臓血管カンパニーで、米国西海岸の子会社であるマイクロベンション社を中心にカテーテル、ニューロ分野の研究開発体制を強化している。2014年度第4四半期から順調に開発が進んでおり、2015年度も引き続き進めていく。またホスピタルカンパニー、血液システムカンパニーでも開発費がやや増える見通しであり、2015年度の全社のR&D比率は6.7%となる見通し。2013年度をピークにこれまで工場の新設や増設等に投資してきた。これらの設備が稼働し始めたため、減価償却費も増加する。

**Q7：海外生産比率を上げることでコスト削減を進める方針であったと思うが、そのペースを落とすのか？**

A7：海外生産比率を上げる方針に変わりはない。どこをどう増やすのかという点が課題と考えている。現在、中国で生産した製品を日本に輸出しているが、人民元高、人件費高騰を考えると、できるだけ中国の中での販売、あるいは周辺諸国への輸出に切り替えていく必要がある。

**Q8：為替変動の影響、血液の価格下落、研究開発費、減価償却費の増加は、ある程度予測できたのでは？中期計画の見通しの確度は？**

A8：研究開発費は、2014年度が少なかった分、2015年度が大きく見えるが、ならしけると特に伸びている訳ではない。減価償却費は、為替変動の影響を受けているが、中計の想定から大きく変わっていない。中計の目標については、昨年の決算説明会の際、売上高、利益の数値よりも、収益性の向上に焦点を置いて努力していく旨をご説明した。2014年度に事業の棚卸しを実行し、収益性の改善に取り組んでいるので、そういった観点で見えていただきたいと考えている。

**Q9：2016年度に、のれん等償却前営業利益率20%を達成できる見通しは？**

A9：現時点で20%が射程圏内に入っているとは言えないが、まずは2015年度の見通しを少しでも上積みすることが第一歩だと考えている。中長期的な取り組みも行い、目標達成に向けて努力していく。

以上